

これまでのとりくみ(P・D)

【めざす子どもの学ぶ姿】

小中一貫教育目標：「生きてはたらく学力」を身につけた心豊かな子ども

キャリア教育（こ小中）目標：

「未来に希望をもち、仲間や地域とともに学ぶ心豊かな子ども～自分と向き合い、他者とながり、学び続ける～」

【めざす授業づくり】

学力の土台である非認知能力（自分と向き合い、高める力・他者とながかる力・学び力）を伸ばすとりくみや授業をしています。

- ①自分と向き合い、高める力（コントロールする力・ねばり強さ・チャレンジ・自信・自尊感情）
- ②他者とながかる力（コミュニケーション・思いやり・協調性）
- ③学び力（興味関心・課題解決力・振り返る力）

全国学力・学習状況調査の結果より(C)

教科の結果より

※正答率・無解答率の数値に関しては、（本校/全国）を表しています。

〈国語〉

読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。（無解答率 30.4/19.1）→文脈を捉え、自分なりの考えを書くことに課題

〈数学〉

多角形の外角の意味を理解しているか。（正答率 37.5/58.1）

グラフから必要な情報を読み取ること。（正答率 57.1/71.9）

→基礎的な知識・技能の定着に課題

〈理科〉

探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できるかどうか。

（無解答率 22.8/9.9）→思判表の短答式・記述式の問いに課題

生徒質問より 肯定的回答

	本校(%)	全国(%)
あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか	44.6	63.3
1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	76.8	79.3
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	87.5	74.7
数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	80.4	76.2

■情報活用能力の育成

情報を整理、分析、表現する力が重要。子どもたち自身が、多様な手段を用いて学びに向かうような授業づくりにとりくんでいく。

■個別最適な学び

自分に合った学び方を選択していけるような環境づくりにとりくむ。

これからのとりくみ(A)